

おいしさと健康

Glico

<抜粋版>

20年12月期 決算説明会

江崎グリコ株式会社

証券コード 2206

2021.2.12

I . 20年12月期業績報告	P. 3 ~ 11
(補足資料)	P.12 ~ 14

I . 20年12月期業績報告

20年12月期業績 サマリー



1. 国内・海外とも新型コロナの影響による苦戦が続き、連結売上高は対前年 ▲2.7%減収。第4四半期は対前年 ▲5.8%と減収が加速。

- 通期においては、国内では冷菓事業が堅調だった一方、それ以外のセグメントが減収。海外でも、新型コロナの影響が大きく減収。

2. 主に販管費の削減により、連結営業利益は対前年+13.9%

- 国内においては、広告費・販売促進費・経費等を抑制したことにより増益。海外でも、売上原価率の低下などにより対前年で増益。

3. 健康分野の価値創造により健康カテゴリーは増収を維持（対前年+5.0%）

- 健康カテゴリーでは、アーモンドミルク市場の創造により、アーモンド効果は大幅な増収を達成したほか、糖質オフの価値を持ったSUNAOブランドも増収。

連結業績の概況



- 売上高 : 国内・海外ともに減収となり、連結全体では対前年▲2.7%の減収。
- 営業利益 : 国内海外ともに増益。国内は販管費の抑制により、対前年+13.9%の増益。

(単位：億円)

	* (調整後) 19年12月期	20年12月期			
	通期実績 (1月-12月)	通期計画 (1月-12月)	通期実績 (1月-12月)	前年同期比	計画比
売上高	3,537	3,580	3,440	▲2.7%	▲3.9%
営業利益	163	180	185	+13.9%	+2.9%
経常利益	175	185	196	+12.1%	+6.2%
当期純利益	121	125	118	▲2.4%	▲5.3%
営業利益率	4.6%	5.0%	5.4%	-	-

* (調整後) 19年12月期通期実績は、国内・海外ともに2019年1月～12月累計 (全頁共通)

営業利益の状況



(単位：億円)

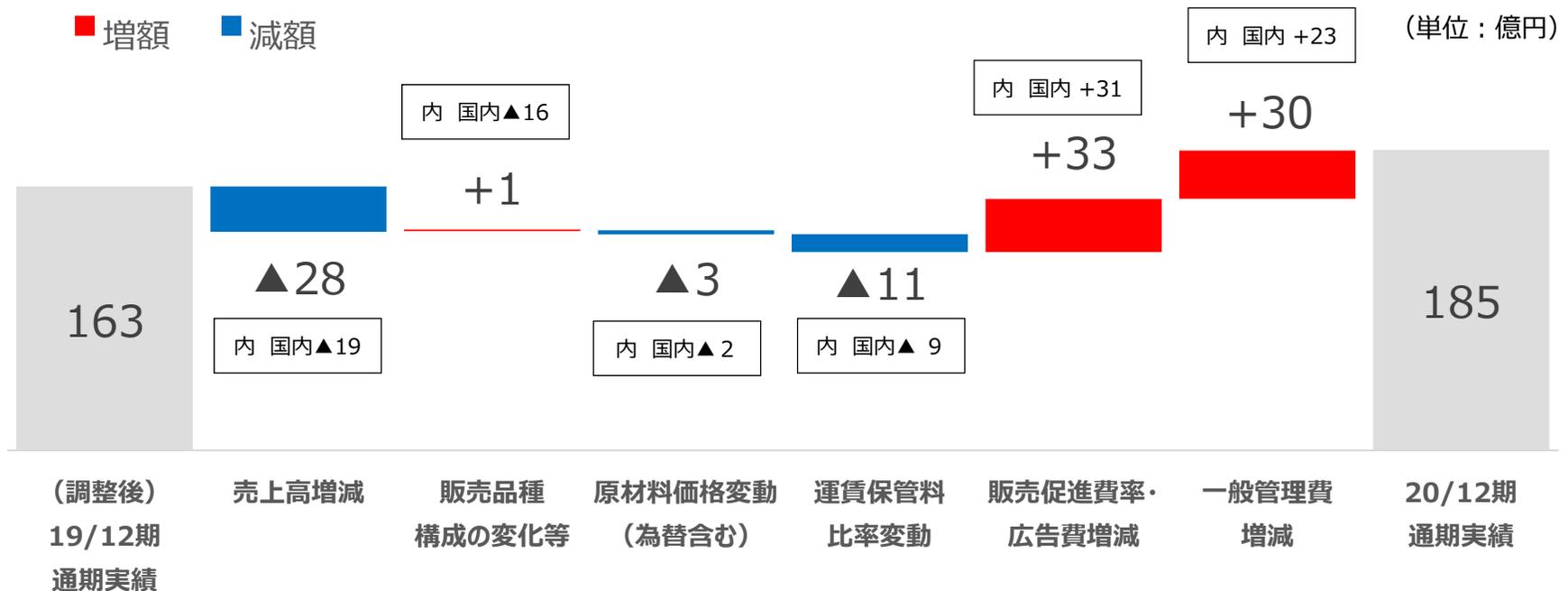
	(調整後) 19年12月期		20年12月期	
	通期実績 (1月-12月)	売上高比	通期実績 (1月-12月)	売上高比
売上高	3,537	100.0%	3,440	100.0%
売上原価	1,860	52.6%	1,816	52.8%
売上総利益	1,677	47.4%	1,624	47.2%
運賃保管料	313	8.8%	315	9.2%
販売促進費	559	15.8%	528	15.4%
広告費	139	3.9%	121	3.5%
人件費・厚生費	294	8.3%	289	8.4%
経費・償却費	210	6.0%	186	5.4%
販管費及び一般管理費 合計	1,514	42.8%	1,439	41.8%
営業利益	163	4.6%	185	5.4%

営業利益の増減要因



<前年同期比>

- 国内は、売上高の減少や販売品種構成の変化等が減益要因であったが、販促費率・広告費ならびに一般管理費の減少により、トータルで増益。
- 海外は、売上高の減少などが減益要因であったが、販売品種構成の変化等や一般管理費の減少などにより、トータルで増益。



セグメント別売上高の状況



- 国内セグメントは、冷菓が業績を牽引したものの、それ以外のセグメントが苦戦し、対前年▲2.4%の減収。
- 海外セグメントは、新型コロナの影響により市況が悪化、個人消費が減速したことにより、対前年で減収（現地通貨ベースで▲1.9%）。

（単位：億円）

	（調整後） 19年12月期 通期		20年12月期 通期		
	実績 （1月-12月）	計画 （1月-12月）	実績 （1月-12月）	前年同期比	計画比
合計	3,537	3,580	3,440	▲2.7%	▲3.9%
（うち 国内）	(3,003)	(3,012)	(2,930)	(▲2.4%)	(▲2.7%)
菓子・食品	962	948	893	▲7.2%	▲5.8%
（うち 菓子）	(770)	(746)	(702)	(▲8.7%)	(▲5.9%)
（うち 食品）	(192)	(201)	(191)	(▲1.0%)	(▲5.3%)
冷菓	874	927	923	+5.7%	▲0.4%
乳業	876	850	834	▲4.8%	▲1.8%
食品原料	106	102	101	▲5.2%	▲1.7%
海外	534	568	510	▲4.5%	▲10.3%
その他	185	185	180	▲2.9%	▲2.8%
（うち 健康）	(123)	(130)	(129)	(+5.0%)	(▲0.7%)

換算レート	（調整後）19年12月期 通期実績	20年12月期 通期計画	20年12月期 通期実績
中国（CNY）	1 CNY= 15.85円	1 CNY= 15.50円	1 CNY= 15.44円
タイ（THB）	1 THB= 3.52円	1 THB= 3.40円	1 THB= 3.42円
米国（USD）	1 USD= 109.37円	1 USD= 109.00円	1 USD= 106.67円

セグメント別営業利益の状況



- 国内セグメントは新型コロナによる販管費の抑制により、対前年 8 億円の増益。
- 海外セグメントは売上原価率の低下などにより、対前年14億円の増益。

(単位：億円)

	(調整後) 19年12月期 通期	20年12月期 通期			
	実績 (1月-12月)	計画 (1月-12月)	実績 (1月-12月)	前年同期比 増減額	計画比 増減額
合計	163	180	185	+23	+5
(うち 国内)	(151)	(163)	(159)	(+8)	(▲4)
菓子・食品	66	70	50	▲17	▲20
(うち 菓子)	(62)	(60)	(41)	(▲21)	(▲19)
(うち 食品)	(4)	(10)	(9)	(+5)	(▲1)
冷菓	60	70	61	+1	▲9
乳業	26	25	25	▲1	+1
食品原料	8	8	9	+1	+1
海外	12	17	26	+14	+9
その他	4	1	3	▲1	+2
調整	▲13	▲10	12	+25	+21

換算レート	(調整後) 19年12月期 通期実績	20年12月期 通期計画	20年12月期 通期実績
中国 (CNY)	1 CNY= 15.85円	1 CNY= 15.50円	1 CNY= 15.44円
タイ (THB)	1 THB= 3.52円	1 THB= 3.40円	1 THB= 3.42円
米国 (USD)	1 USD= 109.37円	1 USD= 109.00円	1 USD= 106.67円

国内：カテゴリー別状況



カテゴリー	※1 売上高 (前年同期比)	20年12月期 通期実績
チョコレート	445億円 (▲7.2%)	主力のポッキーは新型コロナの影響におけるお土産用ポッキー等の減少により減収。その他のブランドも全般的に苦戦。
ビスケット	240億円 (▲7.4%)	プリッツは、お土産用プリッツの苦戦や、昨年のリニューアルの一巡もあり、下期は苦戦。ビスコは10月にリニューアルを実施するも苦戦。
冷菓	923億円 (+5.7%) ^{※2}	アイスの実やパピコ、ジャイアントコーン等は好調に推移。一方、新型コロナの影響により、セブティーンアイスが苦戦。卸売販売子会社は増収。
発酵乳	195億円 (▲6.1%)	BifiXヨーグルトは対前年で増収を達成したものの、朝食りんごヨーグルトなどが落ち込んだことから、対前年で減収。
牛乳・乳飲料	256億円 (▲4.5%)	主力ブランドのカフェオーレは基幹商品のリニューアルを実施し、対前年で増収。一方で、牛乳等が減収。
ベビー・育児	52億円 (▲12.1%)	第2四半期以降、新型コロナの影響により、育児用ミルクが市況の落ち込みもあり減収。
健康	129億円 (+5.0%)	アーモンド効果が引き続き好調に推移、SUNAOも対前年で増収。

※1 (調整後)19年12月期通期実績との比較

※2 卸売販売子会社の売上高含む

海外事業-地域別の売上高、営業利益



◆中国

(単位：百万元)

	19年12月期	20年12月期			
	通期実績 (1月-12月)	通期計画 (1月-12月)	通期実績 (1月-12月)	前年同期比	計画比
売上高	1,652	1,943	1,706	+3.3%	▲12.2%
営業利益	99	135	151	+52.3%	+11.5%

◆ASEAN *

(単位：百万米ドル)

	19年12月期	20年12月期			
	通期実績 (1月-12月)	通期計画 (1月-12月)	通期実績 (1月-12月)	前年同期比	計画比
売上高	147	147	128	▲12.7%	▲12.9%
営業利益	▲10	▲12	▲11	-	-

◆米国 *

(単位：百万米ドル)

	19年12月期	20年12月期			
	通期実績 (1月-12月)	通期計画 (1月-12月)	通期実績 (1月-12月)	前年同期比	計画比
売上高	64	69	71	+11.8%	+3.5%
営業利益	17	16	20	+17.7%	+24.8%

*ASEANの各期の数字については、各国の20年12月期通期の実質レートで置き換えた数値

*米国については、米国江崎グリコの連結ベースの数字

TTM為替レート



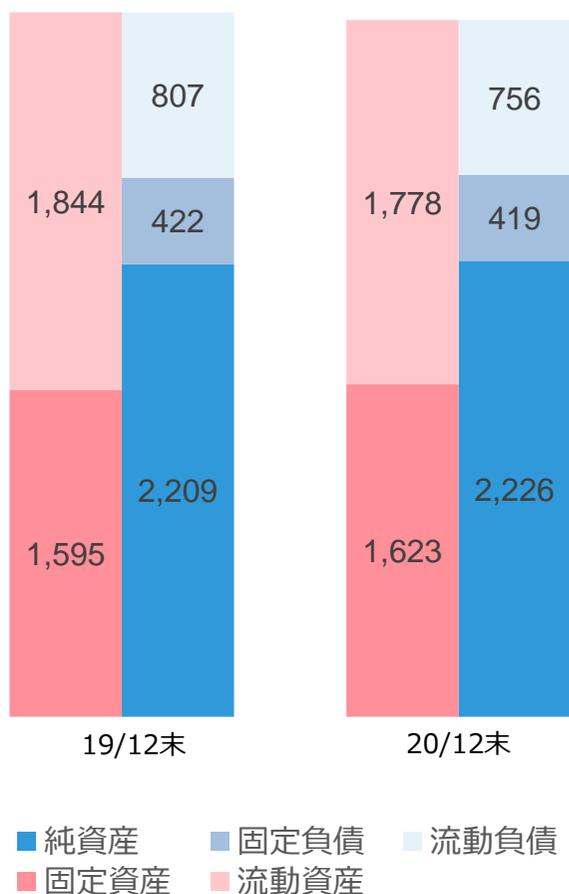
		米ドル	ユーロ	タイバーツ	中国元	100韓国ウォン	100インドネシアピア
		USD	EUR	THB	CNY	100KRW	100IDR
2017	3/31	112.19	119.79	3.26	16.29	10.04	0.84
	6/30	112.00	127.97	3.29	16.49	9.81	0.84
	9/30	112.73	132.85	3.38	16.96	9.89	0.84
	12/31	113.00	134.94	3.45	17.29	10.62	0.84
2018	3/31	106.24	130.52	3.40	16.92	9.99	0.78
	6/30	110.54	127.91	3.33	16.66	9.88	0.77
	9/30	113.57	132.14	3.50	16.50	10.23	0.76
	12/31	111.00	127.00	3.41	16.16	9.94	0.77
2019	3/31	110.99	124.56	3.49	16.47	9.80	0.78
	6/30	107.79	122.49	3.50	15.69	9.33	0.77
	9/30	107.92	118.02	3.53	15.13	8.99	0.76
	12/31	109.56	122.54	3.63	15.67	9.46	0.79
2020	3/31	108.83	119.55	3.34	15.31	8.92	0.67
	6/30	107.74	121.08	3.49	15.23	9.00	0.76
	9/30	105.80	124.17	3.34	15.54	9.08	0.72
	12/31	103.50	126.95	3.44	15.88	9.52	0.74

貸借対照表の状況



■ 自己資本比率：62.0%(2019/12末) ⇒ 65.2%(2020/12末)

(単位：億円)



資産の部		19年12月末	20年12月末	
主要勘定科目		実績	実績	前年同期比金額
流動資産	現金及び預金	996	979	▲17
	受取手形及び売掛金	438	435	▲3
	有価証券	60	7	▲52
	棚卸資産	299	289	▲10
	流動資産合計	1,844	1,778	▲65
固定資産	有形固定資産	998	976	▲22
	無形固定資産	70	107	+37
	投資有価証券	353	354	+1
	固定資産合計	1,595	1,623	+28

負債の部・純資産の部		19年12月末	20年12月末	
主要勘定科目		実績	実績	前年同期比金額
流動負債	支払手形及び買掛金	360	326	▲35
	短期・長期(1年以内)借入金	2	2	▲0
	流動負債合計	807	756	▲51
固定負債	転換社債型新株予約権付社債	301	301	▲0
	長期借入金	0	3	+3
	固定負債合計	422	419	▲3
純資産	株主資本	2,042	2,137	+95
	純資産合計	2,209	2,226	+16

キャッシュフローの状況



(単位：億円)

	17年3月期 通期実績	18年3月期 通期実績	19年3月期 通期実績	19年12月期 通期実績	20年12月期 通期実績
営業活動による キャッシュフロー	296	315	203	173	172
投資活動による キャッシュフロー	▲141	▲250	▲87	▲90	▲124
FCF (フリーキャッシュフロー)	155	64	116	83	48
財務活動による キャッシュフロー	242	▲45	▲46	▲96	▲97
現金及び現金同等物の期末残高	902	930	992	980	924

【注意事項】

*この資料中の当社および当社グループの現在の計画、見通し、取組みなどは、現時点において入手可能な情報の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる可能性がある事をご承知下さい。

*そのような要因の例としては、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

《お問合せ先》

江崎グリコ株式会社 株式・IR部長 山川 尚之

TEL : 06-6477-8167

E-mail : ir-division@glico.com